

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の高齢化が進み重度化した場合や終末期の在り方について、終末期に向けた対応の必要性が高まっている。	当ホームは医療体制が整っていないが、ホームの環境や現状を勘案し、急変時など本人や家族への説明、意思確認を行う。	・かかりつけ医や特養など連携を図り協力を得やすい環境の整備。・医療体制が整っていないことへの理解と急変時の対応に伴う本人家族への意思確認を行い、同意書等書面化する。・日頃から、状態の変化を家族に報告し特養への移行など提案する。	常時
2		法人内の施設と合同で通報訓練や避難経路の確認は行っているが、昼夜間を問わず避難方法を職員全員が身に着けているわけではない。	夜間を想定しての避難訓練を実施したことがない。ホームでの初期対応や隣接施設の応援、職員の連絡方法など、問題点の把握、検討を行う	・夜間想定避難訓練を計画し特養や警備の職員にも協力を得る。また、地元消防団にも連絡し、ホームの実態を把握してもらい協力を得る。	今年度中
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。